

水と環境

シンガポール国際水週間 2016に参加して

寄稿

グローバルウォーター・ジャパン代表
(国連環境アドバイザー) 吉村 和就

10日から14日までシンガポールで開催された「シンガポール国際水週間(S-IWW)2016」には、世界各国から多くの水関係者が参加し、水に関する諸問題を討議した。また、各国企業・団体による展示会は800アースを超える出展があり、多数の来場者で賑わった。本紙では、S-IWWに参加した吉村和就・グローバルウォーター・ジャパン代表(国連環境アドバイザー)に、今年のS-IWWや関連行事の様子について寄稿いただいた。

「シンガポール国際水週間(S-IWW)2016」が、10日から14日まで「持続可能で強靱な都市の水環境ソリューション創造」を主要テーマとしてシンガポール共和国マリナ・ベイ・サンズ・コンベンションセンターで開催された。今回で7回目を迎えるアジア最大級の水の国際会議では、世界各地の政策関係者や水問題の専門家、水に関する各国の関係機関のトップが一堂に会し、各国の基調報告、ワークショップ、ビジネスフォーラムを通じ、水に関する諸問題が幅広く討議された。次回S-IWWは2年後の2018年7月に同

所で開催される。

開会式

10日の開会式ではシンガポールのトニー・タン大統領が、世界各国の参加者に歓迎の意を示すとともに、新しいシンガポールの戦略として①スマートウォーターソリューション②水とエネルギーと廃棄物のネクサス③革新的な技術をもって持続可能なスマート・シンガポールの国づくりを強調した。

合同基調講演

11日は「S-IWW」世界都市サミット、「グリーン環境サミット」の3イベント合同で約2000人の参加者を前に基調講演が行われた。冒頭、

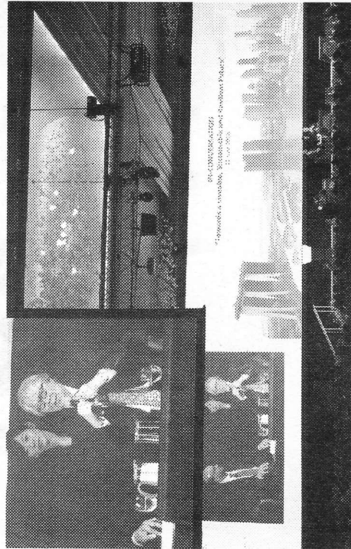
シンガポール大学のトニー・コー教授は「世界人口の7割が都市に住み、水の果たす役割が年々重

いくなので、水の節約と

水に関する諸 「水エキスポ」は

要となっている。また温暖化の影響とみられる水災害も頻発している。タボス会議での冒頭宣言や仙台での「国連防災宣言」を確実に実行してゆくことが、我々の課題である」と指摘。また、デンマークのエスベン・ルーテ環境・食糧大臣は「デンマ

にも水質改善に国を挙げて取り組んでいる」と述べ、ネスレSAのラベック会長は「ネスレは



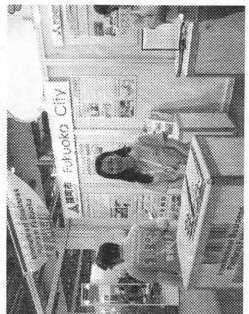
「持続可能で強靱な都市を目指して」をテーマにした基調講演



28社・団体が出展したジャパン・パビリオン



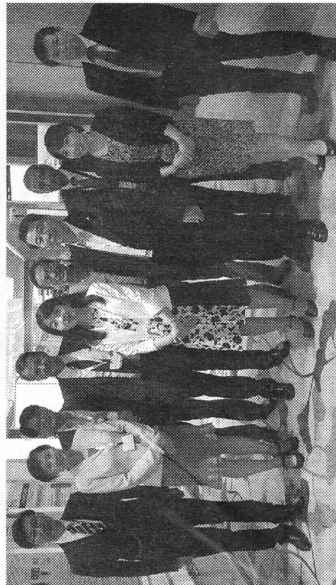
横浜市・横浜水ビジネス協議会のブース



福岡市のブース



WWCとAPWFの合同記念式典



AWC水会議とAPWF合同会議の参加者
(右から4人目は吉村氏)

世界中に生産拠点を持つ
ているが、この10年間で
水の使用量を50%削減し
た。我々はその国の水資

ットイシューでは強靱な
都市づくり、地球温暖化
対策と水問題、水のリス
ク管理、個々の技術では

儀式やポスターセッションも行われた。

展示会場「水エキスポ」
併設された「水エキスポ」
は処理技術やサービス、
製品をテーマとする水
処理分野の総集点とな
っており、大きな盛り
上がりを見せていた。

事務所の発表ではこの期
間中、世界133カ国か
ら約2万人が参加し、展

示は約800ブース超の
規模となっている。日本
は日本貿易振興機構(シ
ンガポールの「ジャパン・
パビリオン」として28
社・団体がブースを構
築。そのほか単独ブース
を構えている日本企業
も多く、開催国シンガ
ポールの存在感を示し
た。

国別のパビリオンでは、
18カ国(シンガポ
ール、米国、カナダ、デ
ンマーク、イスラエル、中

国、ドイツ、英国、韓国、
オランダ、台湾、日本な
ど)が展示を競った。

「ジャパン・パビリオン」
では、民間企業から水
ロギング、エンジニア
リング、キッツ、栗田工
業、東洋紡、住友電工、
鹿島建設、富国工業、ク
ラシなどが出展。自治体
関係では福岡市、横浜市
が、団体関係では日本水
道協会、水のいのちと
ものづくり中部フォー
ラム、横浜水ビジネス協
会などが展示した。

また、単独で大きなブ
ースを構えたのは、メ
タウォーター、東レ、日
電工、明電舎、三菱電機
などであった。異色な展
示はバルブ最大手のキ
ッツである。新規事業と
して養殖魚技術「アクア
カルチャー」を展示、東南
アジアの投資家の注目を
集めていた。

このうち、水ビジネス
水谷重社長、メタウオ
ーターは木田友康副会長
と中村靖社長、JFEエ
ンジニアリングは狩野久
宣社長が陣頭指揮に立
ち、海外の顧客に対応
していた。

世界水会議(WWC)
とアジア太平洋水フォー
ラム(APWF)の合同
記念式典

世界水会議(WWC)
創立20周年記念アジア
太平洋水フォーラム(AP
WF)創立10周年記念
を祝う合同記念式典が
行われた。アジア太平
洋水フォーラムは2006
年に橋本龍太郎首相に
よって設立され、現在は
森喜朗元首相が会長を務
めている。記念式典では
日本水フォーラムの竹村
公太郎事務局長が森会長
からの祝辞を述べ、今後
の両組織の関係強化を言
した。

アジア水会議(AWC)
とアジア太平洋水フォー
ラム(APWF)合同会
議

韓国が主導するアジア
水会議メンバーとアジア
太平洋水フォーラムの事
務局長を務める日本水フ
ォーラム関係者が合同ミ
ニイベントを行った。共通
するアジアの水問題解決
のために両国で協力して
取り組む項目として、第
8回世界水フォーラム
(ブラジル・ブラジリア
で開催)に向けてキック
オフすることや、水の安
全保障と地球温暖化対
策、アジアの水災害の減
災、水とエネルギーと食
糧の未来、IT技術を駆
使した水管理のあり方な
どが話し合われた。

問題を討議 800ブース超出展

源を大切に使うことを言
言している」と述べた。

専門家会議

今回の技術に関するホ



水のいのちものづくり
中部フォーラムのブース



水ビジネスのブース



メタウォーターのブース



JFEエンジニアリングのブース



キッツのブース